

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	広聴課広聴相談班				
事業名	さわやか県民相談(平成4年度～)				連絡先	078-362-3022				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	50,995千円		52,182千円		54,425千円		56,932千円		
	経費内訳	報酬・賃金	37,057千円		37,083千円		34,834千円		42,176千円	
		委託料	3,268千円		3,461千円		3,365千円		3,335千円	
		補助金・交付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	10,670千円		11,638千円		16,226千円		11,421千円	
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(970千円)		(987千円)		(747千円)		(732千円)	
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(その他[地域創生基金])	(729千円)		(746千円)		(748千円)		(733千円)	
		(一般財源)	(49,296千円)		(50,449千円)		(52,930千円)		(55,467千円)	
	人件費②(a+b+c)	従事人員	4.4人		4.4人		4.4人		4.4人	
			38,178千円		36,955千円		39,525千円		38,434千円	
		職員給与費 a	34,390千円		31,992千円		33,858千円		33,471千円	
		賞与引当金繰入額 b	2,411千円		2,561千円		2,411千円		2,561千円	
退職手当引当金繰入額 c		1,377千円		2,402千円		3,256千円		2,402千円		
総コスト(①+②)	従事人員	4.4人		4.4人		4.4人		4.4人		
		89,173千円		89,137千円		93,950千円		95,366千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
		目 標	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000			
	年間相談件数	実績(見込)	18,938	17,538	(15,955)	(25,000)	/			
		(単位当たりコスト)	(5千円)	(5千円)	(6千円)	(4千円)				
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
		達成率(見込)	75.8%	70.2%	(63.8%)	(100.0%)				
	県民意識調査	目 標	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%			
		実績(見込)	37.5%	34.5%	(31.1%)	(50.0%)	/			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-				
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-				
達成率(見込)	75.0%	69.0%	(62.2%)	(100.0%)						
評価	<p>・インターネットの普及により相談件数が低下傾向にある一方で、自らが抱える問題の相談先や相談相手が身近にない高齢者等は増加しており、経験豊富な相談員が問題解決への誘導や専門相談窓口へ案内するなど、相談者のニーズに合った対応により事前整理の役割を果たしている。</p> <p>・また、令和2年度については、外出自粛により来所相談が減少したこと、コロナウイルス関連のコールセンターが設置され、一般的な電話相談が分散したこと等によって相談件数が減少しているが、県政に関することから日常生活の様々な悩みや相談など、幅広い内容を気軽に相談できる窓口として需要があり、年間相談件数は約16,000件と、身近な相談窓口としての役割を十分に果たしている。</p>									
	3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域創生局 地域振興担当				
事業名	「がんばる地域」交流・自立応援事業（平成25年度～）				連絡先	078-362-4308				
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	28,515 千円		52,771 千円		84,774 千円		85,824 千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	28,515 千円		52,771 千円		80,500 千円		82,000 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他需用費等	0 千円		0 千円		4,274 千円		3,824 千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(10,000千円)		(10,000千円)		(10,000千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[地域創生基金]）	(28,515千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(42,771千円)		(74,774千円)		(75,824千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
			17,354 千円		16,798 千円		17,966 千円		17,470 千円	
		職員給与費 a	15,632 千円		14,542 千円		15,390 千円		15,214 千円	
		賞与引当金繰入額 b	1,096 千円		1,164 千円		1,096 千円		1,164 千円	
退職手当引当金繰入額 c		626 千円		1,092 千円		1,480 千円		1,092 千円		
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人		
		45,869 千円		69,569 千円		102,740 千円		103,294 千円		
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
		実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目 標	28	28	28	28	—		
		実績（見込）	20	33	(29)	(28)	—			
		(単位当たりコスト)	(2,293 千円)	(2,108 千円)	(3,543 千円)	(3,689 千円)	—			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—			
		達成率（見込）	71.4%	117.9%	(103.6%)	(100.0%)	—			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目 標	166,000	206,500	249,500	289,500	—			
		実績（見込）	185,000	228,700	(249,500)	(289,500)	—			
		(単位当たりコスト)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	(0 千円)	—			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—			
	達成率（見込）	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)	—				
評価	<p>・これまでに「地域再生大作戦」では、都市農村交流や賑わいづくり、コミュニティの再生などが図られてきたが、地域の自立に向けた事業の展開などが課題となっている。この課題に対し、地域の自立に向け、地域自らが地域力強化のために実施する取り組みに対して支援する必要がある。</p> <p>・地域の自由な発想による取組のきっかけとするための先進地視察・計画策定費・イベント開催・地域PRパンフレット作成費用相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。ハード整備の補助率は1/2としており、地元にも相応の負担を求めている。</p> <p>・着々と目標達成に向け進捗している。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域創生局 地域振興担当			
事業名	地域再生アドバイザー派遣事業（平成26年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	2,979千円		4,610千円		8,010千円		7,428千円	
	経費内訳	報酬・賃金	2,640千円		3,840千円		5,610千円		5,228千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	339千円		770千円		2,400千円		2,200千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(2,305千円)		(2,912千円)		(2,912千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(2,979千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(2,305千円)		(5,098千円)		(4,516千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人
			8,677千円		8,399千円		8,983千円		8,735千円
		職員給与費 a	7,816千円		7,271千円		7,695千円		7,607千円
		賞与引当金繰入額 b	548千円		582千円		548千円		582千円
退職手当引当金繰入額 c		313千円		546千円		740千円		546千円	
総コスト（①+②）	従事人員	1.0人		1.0人		1.0人		1.0人	
		11,656千円		13,009千円		16,993千円		16,163千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	目 標	25	25	25	25	—		
		実績（見込）	27	31	(25)	(25)			
		（単位当たりコスト）	(432千円)	(420千円)	(680千円)	(647千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目 標	166,000	206,500	249,500	289,500	—		
		実績（見込）	185,000	228,700	(249,500)	(289,500)			
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)				
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集落活動の維持・継続が困難になる集落等の増加が予想され、今後を見据えた将来構想や集落が支え合うしくみづくり等の検討に対する支援が必要である。 ・ アドバイザー派遣による合意形成を促進するための先進地視察経費相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。 ・ 着々と目標達成に向け進捗している。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域創生局 地域振興担当			
事業名	集落連携計画策定事業（平成27年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	2,000千円		6,000千円		10,405千円		10,405千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	2,000千円		6,000千円		10,000千円		10,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		405千円		405千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(3,000千円)		(5,202千円)		(5,202千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(2,000千円)		(3,000千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(5,203千円)		(5,203千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			17,354千円		16,798千円		17,966千円		17,470千円
		職員給与費 a	15,632千円		14,542千円		15,390千円		15,214千円
		賞与引当金繰入額 b	1,096千円		1,164千円		1,096千円		1,164千円
退職手当引当金繰入額 c		626千円		1,092千円		1,480千円		1,092千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		19,354千円		22,798千円		28,371千円		27,875千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		実施地区数	目標	10	10	10	10	—	
	地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	実績（見込）	2	6	(3)	(10)			
		（単位当たりコスト）	(9,677千円)	(3,800千円)	(9,457千円)	(2,788千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
		達成率（見込）	20.0%	60.0%	(30.0%)	(100.0%)			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目標	166,000	206,500	249,500	289,500	—		
		実績（見込）	185,000	228,700	(249,500)	(289,500)			
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<p>・個々の集落の自立を基本としながら、集落単位では解決が難しい課題を、集落を越えた広域的単位で連携することにより解決を図り、住み続けられる地域づくりを支援する必要がある。</p> <p>・集落を越えた広域地域での組織づくりを進める基礎となる計画策定経費相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</p> <p>・現時点で目標達成には至っていない。その原因として広域連携の必要性について、個々の集落の意識醸成が不十分であること挙げられる。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域創生局 地域振興担当				
事業名	小規模集落起業促進事業（平成27年度～）				連絡先	078-362-4308				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	8,922千円		9,331千円		14,969千円		18,982千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	8,922千円		9,331千円		14,000千円		18,000千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	0千円		0千円		969千円		982千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(4,665千円)		(7,484千円)		(9,491千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他〔地域創生基金〕）	(8,922千円)		(4,666千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(7,485千円)		(9,491千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
			17,354千円		16,798千円		17,966千円		17,470千円	
		職員給与費 a	15,632千円		14,542千円		15,390千円		15,214千円	
		賞与引当金繰入額 b	1,096千円		1,164千円		1,096千円		1,164千円	
退職手当引当金繰入額 c		626千円		1,092千円		1,480千円		1,092千円		
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人		
		26,276千円		26,129千円		32,935千円		36,452千円		
	〔うち事業拡大部分〕	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
	実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	目標	20	25	30	35	—			
		実績（見込）	19	24	(30)	(35)				
		（単位当たりコスト）	(1,383千円)	(1,089千円)	(1,098千円)	(1,041千円)				
		〔うち事業拡大部分〕	—	—	—	—				
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目標	166,000	206,500	249,500	289,500	—			
		実績（見込）	185,000	228,700	(249,500)	(289,500)				
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		〔うち事業拡大部分〕	—	—	—	—				
		達成率（見込）	95.0%	96.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	達成率（見込）	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・ 過疎地域においてさらなる過疎化・高齢化が進むなか、働き口の減少、耕作放棄地の増大や獣害等、産業基盤の確保が大きな課題である。加えて、路線バスの廃止などによる公共交通の利便性低下、商店・スーパー等の閉鎖など集落における日常生活支援機能の低下が深刻な問題となっている。このため、生活支援サービスの事業化、直売所や特産品加工など地域で資金を循環させ、稼ぐしくみを構築することで、継続可能な地域づくりを進める。</p> <p>・ 外部人材と連携した地域事業の立ち上げにかかる資材購入・イベント開催・地域PRパンフレット作成費用相当を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</p> <p>・ R1からは生活支援サービス事業での車両導入費支援を追加。今後はさらに各市町を通じ、取組実施を促す。</p>									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域創生局 地域振興担当			
事業名	戦略的移住推進事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	11,199千円		9,998千円		38,224千円		75,024千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	11,199千円		9,998千円		38,000千円		74,800千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		224千円		224千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(0千円)		(4,999千円)		(19,112千円)		(63,912千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[]）	(11,199千円)		(4,999千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(19,112千円)		(11,112千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			17,354千円		16,798千円		17,966千円		17,470千円
		職員給与費 a	15,632千円		14,542千円		15,390千円		15,214千円
		賞与引当金繰入額 b	1,096千円		1,164千円		1,096千円		1,164千円
退職手当引当金繰入額 c		626千円		1,092千円		1,480千円		1,092千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		28,553千円		26,796千円		56,190千円		92,494千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[36,304千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI）	目標	3	3	3	3			
		実績（見込）	3	2	(1)	(3)			
		（単位当たりコスト）	(9,518千円)	(13,398千円)	(56,190千円)	(30,831千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	[12,101千円]			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口（統括KPI）	目標	166,000	206,500	249,500	289,500			
		実績（見込）	185,000	228,700	(249,500)	(289,500)			
		（単位当たりコスト）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率（見込）	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)				
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近年本県からの人口転出が続いている中、東京圏からのUJIターン促進を図るため平成28年1月「カムバックひょうご東京センター」を設置し、移住促進を進めているところである。同センターと連携して移住者を積極的に受入れ、人口維持を図る地域を支援している。 ・ R3年度からはこれまでの計画策定・活動支援、移住コーディネーター雇用支援、住環境整備支援に加え、移住促進支援として移住に係る経費に対する補助を追加。今後更なる小規模集落への移住者増を目指す。 								
	3年目の見直し	-							

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間			所管課班	地域創生局 地域振興担当				
事業名		大学との連携による地域創生活動支援事業（平成28年度～）			連絡先	078-362-4308				
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額		
	事業費①	17,677千円		12,159千円		6,445千円		6,445千円		
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円	
		補助金・交付金	17,500千円		12,159千円		6,000千円		6,000千円	
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円	
		その他需用費等	177千円		0千円		445千円		445千円	
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(8,838千円)		(6,079千円)		(3,222千円)		(3,222千円)	
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		（その他[地域創生基金]）	(8,839千円)		(6,080千円)		(0千円)		(0千円)	
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(3,223千円)		(3,223千円)	
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
			17,354千円		16,798千円		17,966千円		17,470千円	
		職員給与費 a	15,632千円		14,542千円		15,390千円		15,214千円	
		賞与引当金繰入額 b	1,096千円		1,164千円		1,096千円		1,164千円	
退職手当引当金繰入額 c		626千円		1,092千円		1,480千円		1,092千円		
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人		
		35,031千円		28,957千円		24,411千円		23,915千円		
	うち事業拡大分	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】			
	地域創生拠点数(累計) 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目標	12	12	1,200	1,200	—			
		実績(見込)	12	(12)	(1,200)	(1,200)				
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(2,919千円)	(2,413千円)	(20千円)	(20千円)				
		達成率(見込)	100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	※R2からは、地域創生活動者数(地域拠点を中心とした地域での活動者数)	目標	166,000	206,500	249,500	289,500	—			
		実績(見込)	185,000	228,700	(249,500)	(289,500)				
		(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		達成率(見込)	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)				
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目標	166,000	206,500	249,500	289,500	—			
実績(見込)		185,000	228,700	(249,500)	(289,500)					
	(単位当たりコスト) [うち事業拡大分]	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)					
	達成率(見込)	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<p>・地域創生、地域再生の持続的な展開に当たっては、先進事例のノウハウや経験の共有、専門人材の有効活用、地域創生人材の育成等が不可欠である。地域創生拠点と大学、地域団体、行政等多様な主体の協働による持続可能な取組を全体的に推進する体制・枠組みの構築を図る。</p> <p>・拠点設置後の地域活動に必要な旅費や資材費等経費を補助限度額として設定し、拠点運営のための恒常的経費については大学等と地域等の負担とするなど、必要最小限の支援としている。また、ネットワーク形成のための会議開催費については、活動を持続的なものとしていくための拠点間交流や連携事業検討等を行うための必要最小限度の経費負担である。</p>									
	3年目の見直し	—								

事務事業評価調査

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域創生局 地域振興担当			
事業名	地域運営組織法人化推進事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-4308			
事業に要するコスト	区 分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	4,292千円		6,477千円		15,232千円		12,272千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	4,292千円		6,477千円		15,000千円		12,000千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	0千円		0千円		232千円		272千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(2,146千円)		(3,238千円)		(7,616千円)		(6,136千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	(2,146千円)		(3,239千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(0千円)		(7,616千円)		(6,136千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人
			17,354千円		16,798千円		17,966千円		17,470千円
	職員給与費 a		15,632千円		14,542千円		15,390千円		15,214千円
	賞与引当金繰入額 b		1,096千円		1,164千円		1,096千円		1,164千円
退職手当引当金繰入額 c		626千円		1,092千円		1,480千円		1,092千円	
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人		2.0人		2.0人		2.0人	
		21,646千円		23,275千円		33,198千円		29,742千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		実施地区数 地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI)	目 標	11	16	21	26	—	
		実績（見込）	10	12	(17)	(22)	—		
		(単位当たりコスト)	(2,165千円)	(1,940千円)	(1,953千円)	(1,352千円)	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—		
		達成率（見込）	90.9%	75.0%	(81.0%)	(84.6%)	—		
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(統括KPI)	目 標	166,000	206,500	249,500	289,500	—		
		実績（見込）	185,000	228,700	(249,500)	(289,500)	—		
		(単位当たりコスト)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)	—		
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—	—		
	達成率（見込）	111.4%	110.8%	(100.0%)	(100.0%)	—			
評価	<p>・これまでの「地域再生大作戦」の取り組みにより、特産品づくりや商品開発が一定の事業収益を上げる地域も現れ始めている。今後地域団体の法人化を進めることで、財産管理や収益配分のしくみを構築し、運営の透明化を図ることで、さらなる地域経済活動の持続的な展開を支援する。</p> <p>・地域活動の自立的・継続的運営のための法人化にかかるアドバイザー経費・法人設立経費相当等の初期経費を補助限度額として設定し、必要最小限の支援としている。</p> <p>・着々と目標達成に向け進捗しているものの目標達成には至っていない。その原因として法人化の意義や必要性について、集落側の意識が成熟していないことが挙げられる。今後は地域再生塾にて法人化研修を充実させ集落の意識を高めるとともに各市町を通じて、取組実施を促す。</p>								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	地域創生局 地域振興担当			
事業名	県版地域おこし協力隊の設置(令和元年度～)				連絡先	078-362-4314			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	-		19,181千円		129,330千円		129,330千円	
	経費内訳	報酬・賃金	-		0千円		0千円		0千円
		委託料	-		19,181千円		129,330千円		129,330千円
		補助金・交付金	-		0千円		0千円		0千円
		貸付金	-		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	-		0千円		0千円		0千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	-		(9,590千円)		(64,665千円)		(64,665千円)
		(県債)	-		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[市町負担金])	-		(4,796千円)		(32,332千円)		(32,332千円)
		(一般財源)	-		(4,795千円)		(32,333千円)		(32,333千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	-		1.0人		1.0人		1.0人
			-		8,399千円		8,983千円		8,735千円
		職員給与費 a	-		7,271千円		7,695千円		7,607千円
		賞与引当金繰入額 b	-		582千円		548千円		582千円
退職手当引当金繰入額 c		-		546千円		740千円		546千円	
総コスト(①+②)	従事人員	-		1.0人		1.0人		1.0人	
		-		27,580千円		138,313千円		138,065千円	
	[うち事業拡大分]	-		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		県版地域おこし協力隊の設置人数	目標	-	30	45	45		
		実績(見込)	-	13	(37)	(40)			
		(単位当たりコスト)	-	(2,122千円)	(3,738千円)	(3,452千円)			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
		達成率(見込)	-	43.3%	(82.2%)	(88.9%)			
		目標	-	-	-	-			
		実績(見込)	-	-	-	-			
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-			
		[うち事業拡大分]	-	-	-	-			
	達成率(見込)	-	-	-	-				
評価	<p>・各市町が地域おこし協力隊等外部人材を流入しているが、集落の高齢化や人口減少のスピードが速く、集落の人材不足が解消されないことから、県版地域おこし協力隊の導入により集落への人的支援を強化する。</p> <p>・国の地域おこし協力隊制度の要件に合致しない人材を県版地域おこし協力隊の対象とすることで、集落への人的支援の幅が広がる。</p> <p>・R2年度は市町から活用要望も多く上がっており、目標達成に向け、さらに市町への制度活用の促進を図る。</p>								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間		所管課班		地域創生局 地域振興担当								
事業名		五国の元気づくり交流拠点モデル支援事業(R1~)		連絡先		078-362-4314								
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額					
	事業費①		-		29,994千円		25,200千円		25,200千円					
	経費内訳	報酬・賃金	-		0千円		0千円		0千円					
		委託料	-		0千円		0千円		0千円					
		補助金・交付金	-		29,994千円		25,200千円		25,200千円					
		貸付金	-		0千円		0千円		0千円					
		その他需用費等	-		0千円		0千円		0千円					
	(財源内訳)	(国庫支出金)	-		(14,997千円)		(12,600千円)		(12,600千円)					
		(県債)	-		(0千円)		(0千円)		(0千円)					
		(その他[])	-		(14,997千円)		(0千円)		(0千円)					
		(一般財源)	-		(0千円)		(12,600千円)		(12,600千円)					
	人件費② (a+b+c)		従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人				
			-		8,399千円		8,983千円		8,735千円					
	職員給与費 a		-		7,271千円		7,695千円		7,607千円					
賞与引当金繰入額 b		-		582千円		548千円		582千円						
退職手当引当金繰入額 c		-		546千円		740千円		546千円						
総コスト (①+②)		従事人員	-	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人	従事人員	1.0人					
		-		38,393千円		34,183千円		33,935千円						
[うち事業拡大分]		-		[0千円]		[0千円]		[0千円]						
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分		30年度実績		元年度実績		2年度見込		3年度目標		最終目標【年度】	
	来店者数		目 標		-		170,000		160,000		160,000			
			実績(見込)		-		152,000		(160,000)		(160,000)			
			(単位当たりコスト)		-		(0千円)		(0千円)		(0千円)			
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
	交流拠点を活用したイベントの実施数		目 標		-		5		10		10			
			実績(見込)		-		12		10		10			
			(単位当たりコスト)		-		(3,199千円)		(3,418千円)		(3,394千円)			
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
	地域再生大作戦取組地区の交流人口(総括Kpi)		目 標		-		206,500		245,000		245,000			
			実績(見込)		-		250,000		(250,000)		(250,000)			
			(単位当たりコスト)		-		(0千円)		(0千円)		(0千円)			
			[うち事業拡大分]		-		-		-		-			
		達成率(見込)		-		89.4%		(100.0%)		(100.0%)				
		達成率(見込)		-		240.0%		(100.0%)		(100.0%)				
		達成率(見込)		-		121.1%		(102.0%)		(102.0%)				
評価		<ul style="list-style-type: none"> ・地域再生大作戦の取組により活性化しつつある地域を側面的に支援し、多自然地域ならではの魅力を都市部に広め、地域、集落自体の認知度向上、販路の拡大などを図ることで、地域の自立を後押しする。 ・年間約16万人の都市住民利用者が見込める元町マルシェを多自然地域の情報発信、交流拠点とすることで、都市と農村双方の情報交流を促進を図るため、R1年度以降は交流発信拠点整備を併せて実施し、目標は概ね達成の見込みである。 ・R2年度以降は、集荷の簡素化等による輸送コスト削減への取組、大型小売店への出荷などによる販売網の拡大など、さらなる費用削減及び収益向上の取組の促進を図り、自立した経営ができるようマルシェの運営と一体で支援を行う。 												
3年目の見直し		-												

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	総合農政課楽農生活楽農生活班			
事業名	田舎暮らし農園施設整備支援事業(平成28年度～)				連絡先	078-362-9198			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	4,619千円		1,750千円		12,886千円		16,678千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	0千円		0千円		0千円		0千円
		補助金・交付金	4,500千円		1,750千円		12,500千円		16,500千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	119千円		0千円		386千円		178千円
	(財源内訳)	(国庫支出金)	(2,309千円)		(875千円)		(6,443千円)		(8,339千円)
		(県債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		(その他[特定(地域創生基金)])	(2,310千円)		(875千円)		(0千円)		(0千円)
		(一般財源)	(0千円)		(0千円)		(6,443千円)		(8,339千円)
	人件費②(a+b+c)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人
			3,471千円		3,360千円		3,593千円		3,494千円
		職員給与費 a	3,126千円		2,908千円		3,078千円		3,043千円
		賞与引当金繰入額 b	219千円		233千円		219千円		233千円
退職手当引当金繰入額 c		125千円		218千円		296千円		218千円	
総コスト(①+②)	従事人員	0.4人		0.4人		0.4人		0.4人	
		8,090千円		5,110千円		16,479千円		20,172千円	
	[うち事業拡大分]	[0千円]		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
		楽農生活交流人口(万人)	目標	1,130	1,140	1,150	1,160	1,200	
	(ひょうご農林水産ビジョン2025)	実績(見込)		1,131	1,108	(1,150)	(1,160)	【7年度】	
		(単位当たりコスト)		(7千円)	(5千円)	(14千円)	(17千円)	/	
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
		達成率(見込)		100.1%	97.2%	(100.0%)	(100.0%)		
	田舎暮らし農園施設整備、空き家改修の実施地区数(累計)	目標	30	40	50	60	60		
	(活力あるふるさと兵庫実現プログラム(目標))	実績(見込)		18	20	(25)	(60)	【3年度】	
		(単位当たりコスト)		(449千円)	(255千円)	(659千円)	(336千円)	/	
		[うち事業拡大分]		-	-	-	-		
達成率(見込)			(60.0%)	(50.0%)	(50.0%)	(100.0%)			
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・定住や二地域居住の支援において、空き家の改修とともに遊休農地の活用を推進することで、有効かつ効果的な事業となり、農村部の活性化を図り、地域創生を推進することができる。 ・地元市町や県民局等の関係機関と連携して、効果的に事業周知を進めるなど、最低限のコストで効率的な事業実施に努める。 ・都市住民が農村部を訪れるきっかけとなる施設として、これまで対象としていた農林漁業体験民宿への改修に加え、令和3年度から農業体験施設(農家レストラン、農産物加工体験施設等)への改修を拡充した。より多くの都市農村の交流の場を形成し、農作物の栽培体験など、「農」に関わる仕組みを創出していくことにより目標達成に努める。 								
3年目の見直し	-								

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	住宅政策課住宅政策班				
事業名	・オールド・ニュータウン再生モデル事業（平成23年度～） ・郊外型住宅団地再生先導的支援事業（平成28年度～）				連絡先	078-362-3595				
事業に要するコスト	区 分		30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①		2,252千円	6,347千円	15,772千円	13,883千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円				
		委託料	2,242千円	1,732千円	3,618千円	1,729千円				
		補助金・交付金	0千円	4,500千円	10,526千円	10,526千円				
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円				
		その他需用費等	10千円	115千円	1,628千円	1,628千円				
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(1,126千円)	(2,855千円)	(5,655千円)	(4,806千円)				
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		（その他[地域創生基金]）	(1,126千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)				
		（一般財源）	(0千円)	(3,492千円)	(10,117千円)	(9,077千円)				
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人		従事人員	2.0人
				17,354千円	16,798千円	17,966千円	17,470千円			
		職員給与費 a	15,632千円	14,542千円	15,390千円	15,214千円				
		賞与引当金繰入額 b	1,096千円	1,164千円	1,096千円	1,164千円				
退職手当引当金繰入額 c		626千円	1,092千円	1,480千円	1,092千円					
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人	従事人員	2.0人		従事人員	2.0人	
			19,606千円	23,145千円	33,738千円	31,353千円				
	[うち事業拡大分]		[0千円]	[4,500千円]	[1,885千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名		区 分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	コミュニティ再生活動団体登録数（地域創生戦略事業進捗指標（事業KPI））	目 標		12	15	18	21	30		
		実績（見込）		12	15	(18)	(21)	【令和6年度】		
		（単位当たりコスト）		(1,634千円)	(1,543千円)	(1,874千円)	(1,493千円)	/		
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—			
	達成率（見込）		100.0%	100.0%	(100.0%)	(100.0%)				
	新たに再生に向けた協議会等を設立した団地数（21世紀長期ビジョン・活力あるふるさと兵庫実現プログラム）	目 標		13	15	11	12	12		
		実績（見込）		10	10	(11)	(12)	【令和3年度】		
		（単位当たりコスト）		(1,961千円)	(0千円)	(3,067千円)	(2,613千円)	/		
		[うち事業拡大分]		—	—	—	—			
達成率（見込）		76.9%	66.7%	(100.0%)	(100.0%)					
評価	<p>県内のニュータウンの先駆けである明舞団地においては、コミュニティ再生活動団体登録数が概ね目標通りに推移している。引き続き住民主体のまちづくりモデル事業を実施するとともに、地域や市町が実施する再生に向けた取り組みを支援する必要がある。</p> <p>郊外型住宅団地再生先導的支援事業では平成28年度からの出前講座等の実施により協議会設立団地数を伸ばしているところである。引き続き地域への出前講座や地元市町へのニュータウン再生の必要性を周知し、再生に取り組む地元活動団体等を支援する体制を整え、目標の達成を図る。</p>									
	3年目の見直し									

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	住宅政策課住宅政策班			
事業名	優良な住宅ストックの有効活用（平成19年度～） （空き家活用支援事業、古民家再生促進支援事業、イン スペクション普及支援事業）				連絡先	078-362-3581（インスペクション） 078-362-3583（空き家活用及び 古民家再生）			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	65,986千円		120,128千円		144,279千円		186,368千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0千円		0千円		0千円		0千円
		委託料	3,731千円		4,256千円		4,368千円		4,058千円
		補助金・交付金	61,963千円		115,619千円		139,455千円		181,920千円
		貸付金	0千円		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	292千円		253千円		456千円		390千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(32,993千円)		(55,198千円)		(67,191千円)		(86,130千円)
		（県債）	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他〔地域創生基金〕）	(32,993千円)		(11,380千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	(0千円)		(53,550千円)		(77,088千円)		(100,238千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	3.0人		3.0人		3.0人		3.0人
			26,031千円		25,702千円		26,949千円		26,205千円
		職員給与費 a	23,448千円		22,250千円		23,085千円		22,821千円
		賞与引当金繰入額 b	1,644千円		1,709千円		1,644千円		1,746千円
退職手当引当金繰入額 c		939千円		1,743千円		2,220千円		1,638千円	
従事人員		3.0人		3.0人		3.0人		3.0人	
総コスト（①+②）	92,017千円		145,830千円		171,228千円		212,573千円		
〔うち事業拡大分〕	[0千円]		[15,500千円]		[0千円]		[35,750千円]		
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	空き家活用支援事業の実施件数(21世紀長期ビジョン・活力あるふるさと兵庫実現プログラム)	目標	70	80	90	100	100【毎年度】		
		実績（見込）	33	51	(74)	(100)			
		（単位当たりコスト）	(2,788千円)	(2,859千円)	(2,314千円)	(2,126千円)			
		〔うち事業拡大分〕	—	[304千円]	—	[358千円]			
		達成率（見込）	47.1%	63.8%	(82.2%)	(100.0%)			
	古民家再生促進支援事業改修工事費補助の実施件数(地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	5	5	10	10	10【毎年度】		
		実績（見込）	3	3	(4)	(10)			
		（単位当たりコスト）	(30,672千円)	(48,610千円)	(42,807千円)	(21,257千円)			
		〔うち事業拡大分〕	—	[5,167千円]	—	[3,575千円]			
達成率（見込）		60.0%	60.0%	(40.0%)	(100.0%)				
評価	間もなく、団塊の世代が相続期を迎え、空き家が急激に増加することが予想される。そのため、空き家の発生を抑えるとともに、空き家や古民家の利活用の推進を図る施策が必要である。 空き家活用支援事業・古民家再生促進支援事業ともに、事業の周知は進み、随伴補助を行う市町数も増加しているため、事業実施件数は増加傾向となっており、引き続き市町の随伴補助制度化についても働きかけていく。 また、令和3年度から、UJIターンをする者を対象とする住宅や事業所、学生シェアハウスの補助額を拡大している。								
	3年目の見直し	—							

事務事業評価調書

施策体系	豊かな生活空間				所管課班	都市計画課土地利用班（立地調整担当）			
事業名	まちなか再生協議会等の運営支援(平成27年度～)				連絡先	078-362-9296			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額	元年度決算額	2年度当初予算額	3年度当初予算額				
	事業費①	10,919千円	10,566千円	16,000千円	16,000千円				
	経費内訳	報酬・賃金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		委託料	0千円	0千円	0千円	0千円			
		補助金・交付金	4,402千円	4,766千円	7,000千円	6,250千円			
		貸付金	0千円	0千円	0千円	0千円			
		その他需用費等	6,517千円	5,800千円	9,000千円	9,750千円			
	（財源内訳）	（国庫支出金）	(5,459千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（県債）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（その他[]）	(0千円)	(0千円)	(0千円)	(0千円)			
		（一般財源）	(5,460千円)	(10,566千円)	(16,000千円)	(16,000千円)			
	人件費②（a+b+c）	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人			
			17,354千円	16,798千円	17,966千円	17,470千円			
		職員給与費 a	15,632千円	14,542千円	15,390千円	15,214千円			
		賞与引当金繰入額 b	1,096千円	1,164千円	1,096千円	1,164千円			
退職手当引当金繰入額 c		626千円	1,092千円	1,480千円	1,092千円				
総コスト（①+②）	従事人員	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人				
		28,273千円	27,364千円	33,966千円	33,470千円				
	[うち事業拡大分]	[0千円]	[0千円]	[2,500千円]	[0千円]				
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	まちなか再生計画策定件数 （活力あるふるさと兵庫実現プログラム） ※H27年度～	目標	4	5	6	7	7		
		実績（見込）	4	5	(7)	(7)	【令和3年度】		
		（単位当たりコスト）	(7,068千円)	(5,473千円)	(4,852千円)	(4,781千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	[357千円]	—			
	達成率（見込）	100.0%	(100.0%)	(116.7%)	(100.0%)				
	まちなか再生事業着手件数 （地域創生アクションプラン） ※R2年度～	目標	—	—	6	11	28		
		実績（見込）	0	4	(10)	(11)	【令和6年度】		
		（単位当たりコスト）	—	(6,841千円)	(3,397千円)	(3,043千円)	/		
		[うち事業拡大分]	—	—	[250千円]	—			
達成率（見込）	—	—	(166.7%)	(100.0%)					
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化とまちの再整備（まちなか再生）に資する取組を地元協議会が実施することで、地域活動が生まれ、まちなかにぎわいが創出されている。 ・まちなか再生に取り組む7つの区域では、すべての区域において協議会自らがまちなか再生計画を策定し、4つの区域においてはまちなか再生事業が実施されるなど、まちなか再生が着実に進められている。 ・今後も各協議会の研修、情報共有、意見交換等のために設立した「ひょうごまちなか再生会議」を活用し、さらにまちなか再生が進むよう取り組んでいく。 								
3年目の見直し	—								

事務事業評価調書

施策体系		豊かな生活空間			所管課班	住宅政策課住宅政策班			
事業名		リノベーションまちづくり推進事業（令和元年度～）			連絡先	078-362-3583			
事業に要するコスト	区分	30年度決算額		元年度決算額		2年度当初予算額		3年度当初予算額	
	事業費①	—		3,060千円		20,000千円		20,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金	—		0千円		0千円		0千円
		委託料	—		3,060千円		8,000千円		8,000千円
		補助金・交付金	—		0千円		12,000千円		12,000千円
		貸付金	—		0千円		0千円		0千円
		その他需用費等	—		0千円		0千円		0千円
	（財源内訳）	（国庫支出金）	—		(1,530千円)		(10,000千円)		(10,000千円)
		（県債）	—		(0千円)		(0千円)		(0千円)
		（その他[地域創生基金]）	—		(1,530千円)		(0千円)		(0千円)
		（一般財源）	—		(0千円)		(10,000千円)		(10,000千円)
	人件費②（a+b+c）	従事人員	—		1.0人		1.0人		2.0人
			—		8,399千円		8,983千円		17,470千円
		職員給与費 a	—		7,271千円		7,695千円		15,214千円
		賞与引当金繰入額 b	—		582千円		548千円		1,164千円
退職手当引当金繰入額 c		—		546千円		740千円		1,092千円	
総コスト（①+②）	従事人員	—		1.0人		1.0人		2.0人	
		—		11,459千円		28,983千円		37,470千円	
	[うち事業拡大分]	—		[0千円]		[0千円]		[0千円]	
事業目的の達成度を示す指標	指標名	区分	30年度実績	元年度実績	2年度見込	3年度目標	最終目標【年度】		
	リノベーションまちづくり推進事業により設立されたまちづくり会社数	目標	—	1	1	1	1【毎年度】		
		実績（見込）	—	(0)	(0)	(1)			
		（単位当たりコスト）	—	—	(0千円)	(37,470千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
	達成率（見込）	—	—	(0.0%)	(100.0%)				
	リノベーションスクールの開催回数	目標	—	3	4	4	4【毎年度】		
		実績（見込）	—	0	(3)	(4)			
		（単位当たりコスト）	—	—	(9,661千円)	(9,368千円)			
		[うち事業拡大分]	—	—	—	—			
達成率（見込）	—	0.0%	(75.0%)	(100.0%)					
評価	<p>商店街などの中心市街地だけでなく、商店街の周辺地域やニュータウン等の遊休不動産の活用することで、まちの再生・活性化を図る。</p> <p>明舞団地では令和2年度にリノベーションスクールを開催し、市町向け事業説明会などにも積極的な出席を求めている。その結果、市町においても、リノベーションまちづくりの普及啓発を目的とした事前講演会を行うなど、リノベーションスクールの開催に向けて事業を進めていることから、令和3年度のリノベーションスクール開催回数は増加する見込みである。</p>								
3年目の見直し	—								